

**【学校教育目標】**

- ・自分で考え、表現できる子
- ・思いやりをもち、認め合える子
- ・心と体を大切に、学び続ける子

**【研究主題】**

自ら問いをもち、他者と関わりながら学び、自分の考えを表現する子の育成  
—生活科・総合的な学習の時間における学びの過程を通して—

**【研究仮説】**

生活科・総合的な学習の時間において、子どもが課題を自分事として捉え、自ら問いを見いだせるような手だてを工夫し、探究の過程をスパイラルに繰り返しながら学習を進めることで、他者と関わりながら考えを深め、主体的に表現する力が育つであろう。

本校の生活科・総合的な学習の時間で重点的に育成を目指す力

問いをもつ力 (課題設定)

考えを深める力  
(情報の収集・整理・分析)

伝え合う力 (まとめ・表現)

低学年  
なぜ?どうして?という思いを  
もって取り組む子。

中学年  
調べたことを比べたりつなげたりし  
て考える子。

高学年  
自ら課題を設定し、考えを深め、  
相手意識をもって表現する子。

探究的なスパイラル

低学年 手だて

- ① 疑問や気づきが生まれるための工夫  
・わくわくする出会い ・さわる・ためす ・くらべて見る ・「なんで?」を大事にする
- ② 気づきを広げるための工夫  
・友達と話す ・みんなで見せ合う ・絵や写真でのこす ・もう一回やってみる
- ③ 伝えたいようになるための工夫  
・だれかに知らせる ・聞いてもらう場をつくる ・好きな方法で伝える ・ほめられる・認められる

中・高学年 手だて

- ① 課題設定の工夫  
・体験や違和感から問いを生む ・子どもが自分事として捉える導入
- ② 情報の収集・整理・分析の工夫  
・比較・分類・関係付けを意識した活動 ・対話を通じた思考の深まり
- ③ まとめ・表現の工夫  
・相手や目的を意識した表現活動 ・振り返りによる学びの自覚化